

平成29年度「地方教育行政功労者表彰」及び「教育者表彰」（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記のとおり受賞者が決定しましたので、報告します。

1 地方教育行政功労者表彰について

(1) 表彰の目的

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とする。

(2) 被表彰者及び主な功績

氏名	略歴 (期間)	主な功績
ふせぎ ゆかこ 伏木由佳子	栃木県教育委員会委員 (H22. 2. 25～H30. 2. 24) 栃木県教育委員会委員長 (H24. 10. 1～H25. 9. 30)	高校再編後期実行計画の策定を始め、科学技術高等学校の開校等、高校再編の推進に尽力した。また、学校現場等との連携強化を図るため、学校・施設訪問、教職員や市町教育委員会委員との意見交換による相互理解の促進に努めた。
よこやま しんこう 横山 真康	藤原町教育委員会委員 (S61. 10. 1～H18. 3. 19) 藤原町教育委員会委員長 (H5. 10. 1～H18. 3. 19) 日光市教育委員会委員 (H18. 3. 20～H29. 5. 12) 日光市教育委員会委員長 (H18. 3. 20～H27. 5. 12)	市町村合併の際、暫定委員長を経て日光市教育委員会委員長を務め、教育委員会の発展及び円滑な運営に尽力した。また、過疎化・少子化による小中学校の統廃合の課題に対し、教育委員会の策定する統合案をとりまとめ、在任中5校の小中学校が閉校となったが、大きな混乱もなく統廃合が進められた。
ひはら ゆうこ 日原 悠子	大田原市教育委員会委員 (H4. 10. 1～H28. 9. 30) 大田原市教育委員会委員長 (H11. 10. 1～H14. 9. 30)	教育委員を24年（うち委員長3年）務め、地域や市の教育力向上に貢献した。また、小中学校の統廃合の実現や、給付型奨学金制度の導入等市教育行政の発展に尽力した。

### (3) 表彰式の日時及び場所

平成29年10月13日(金) 12時20分～ 於 文部科学省講堂

## 2 教育者表彰について

### (1) 表彰の目的

学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、これを文部科学大臣が表彰することを目的とする。

### (2) 被表彰者及び主な功績

氏名 (職名)	略歴及び主な功績
さいとう ひろお 齋藤 宏夫 (栃木県立宇都宮高等学校長)	公立学校に21年6月、県教育委員会事務局に13年勤務する。 これまでの教育実践や教育行政での経験を生かし、生徒に真に社会のリーダーにふさわしい資質・能力を身に付けさせるための学校経営を展開している。
たかはし てつや 高橋 哲也 (宇都宮市立陽南中学校長)	公立学校に18年6月、国立学校に6年、県教育委員会事務局に11年勤務する。 生徒一人一人のよさを全教職員が共有し、褒めて伸ばしながら、そのよさを発揮し合える学校づくりを目指し、楽しく分かる授業の実践などに取り組んでいる。
たかはし まさひこ 高橋 正彦 (宇都宮市立戸祭小学校長)	公立学校に24年6月、県教育委員会事務局に13年勤務する。 児童一人一人が安心して自分のよさを発揮しながら、確かな学力を身につけ、豊かな心と健康・体力を育むことができる教育環境づくりに取り組んでいる。

### (3) 表彰式の日時及び場所

平成29年12月5日(火) 12時20分～ 於 文部科学省講堂